



第 80 号

平成 22 年 9 月 1 日

発 行

本 荘 由 利 森 林 組 合

由 利 本 荘 市 水 林 381

T E L 0184 24 4141(代)

F A X 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089

製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~honmori/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



相互安全衛生パトロール(たんぽぽ^{ぶらん}計画)

平成二十二年 労働安全衛生大会

六月二十五日、協力事業体、技能班、役職員等含め百二十余人の参加で矢島「日新館」を会場に開催されました。組合長から一人一人の安全意識の高揚を呼びかけるあいさつがあり、続いて退職者への感謝状贈呈、優良運転者の表彰が行われました。安全講話では、講師に中小企業安全衛生指導員の小笠原勝榮氏を招き、「必ず防げる労働災害、必ず行う健康づくり」の演題で講演を頂きました。

講話では、県内の林業死亡災害発生率が全国に比べて高いという現状と、労働災害の発生原因の分析と災害への対策・注意点、心と体の健康について、分かり易く説明されました。



会場の様子



安全講話

優良運転者表彰

「無事故無違反25年」

猪股 映子（本所造林課）

「無事故無違反15年」

阿部多喜子（由利支所）

阿部 正輝（大内支所）

佐藤 智信

（本所林販兼造林課）

「無事故無違反10年」

齋藤 清稔（由利支所）

岡本 善広（鳥海支所）

阿部 久（東由利支所）

古川 暢（本所林販課）

高橋 信吾（本所技能班）

石垣 嘉則（本所技能班）

退職者感謝状贈呈

木材流通センター所属

佐々木 透 氏

小林 則夫 氏

長い間ご苦労さまでした。

平成二十二年 連絡員会議

七月八日、連絡員百四十八人の参加で西目公民館「シーガル」を会場に開催されました。組合長、櫻田森づくり推進課長のあいさつに続き、各課より報告・連絡を行いました。

総務課より年間行事や組合員異動等の届出についてのお願ひ、造林課より補助事業等についての説明、林産販売課より共販市況と円柱加工の稼働状況の説明、加工課より西目製材工場の稼働状況の説明をしました。その後の質疑応答の要旨は次のとおりです。

Q 現在の連絡員の総数と、各連絡員の担当人数はどれくらいか。また、人数が多い地区に連絡員を増やし、担当人数を分割できないか。

A 連絡員は、約四百人いる。担当人数は地区により二、三人から数十人となっている。担当の多い地区の連絡員に関しては増員を考慮していきたい。

Q いつまでも「造林」ばかりで収入がないと熱が入らない。製材価格を上げる運動はしないのか。

A 集約化を進め、コスト減により林家へ還元していく。製品に関しても赤字を出さないよう努力していく。

Q 組合員の脱退が増えているとき、林家も少子・高齢化がすすみ、自分の所有する山の所在や境界が分からなくなってくる。組合ではどのような取り組みをしていくのか。

A 境界については、林家の家族がわからないものを組合が把握することはできない。組合と組合員との間で事業を進める中で確認できるようにしていく。職員がGPSで測量を行い、記録し、データを基に精度の高い写真を利用することで山の所在がわかるようにしていく。



第44回 秋田県林業経営コンクール表彰式

7月28日、秋田市の「秋田パークホテル」を会場に秋田県林業改良普及協会通常総会が開催され、同会主催の、秋田県林業経営コンクール表彰授与式が行われました。当組合からは2名の受賞と1団体への感謝状が贈られました。

優 秀 賞

林業経営の部
秋田県林業協会会長賞



鈴木 元蔵 氏
(由利本荘市鳥海町)

優 良 賞

育林の部(間伐)
秋田県林業改良普及協会会長賞



佐々木 市子 氏
(秋田市)

功 勞 の 部

間伐推進の部
秋田県森林組合連合会感謝状



金浦町大竹牧野農業共同組合
代表理事組合長 須藤 実 氏
(にかほ市)

受賞おめでとうございます。益々のご活躍をご期待申し上げます。



雄平原木市場



大森町きのこ栽培施設



遠藤一氏 山林



ウッディさんない木工施設

林業研究会 第十三回通常総会・視察研修

平成二十二年七月二十一日、二十二日にかけて林業研究会視察研修と通常総会が行われました。

参加者十四名により、雄平原木市場、遠藤一氏山林(大森町)、大森町きのこ栽培施設、ウッディさんないの木工施設を視察しました。通常総会は横手市山内「共林荘」にて開催されました。

平成22年度 造林補助事業について

1. 今年度の当管内造林補助予算

今年度の当管内森林整備予算は平成21年度分の繰越予算を加えた511百万円（補助金額）となっており、昨年度並みの予算配分となっています。

当組合の昨年度実績は約487百万円となっており、今年度も昨年度同様に組合員のご理解を得ながら予算消化できるよう森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。

尚、里山エリア再生交付金事業（間伐60年生まで補助対象）が今年度予算で終了となるため36年生以上の切捨間伐予定箇所は今年度中に作業実施をお願いします。

2. 平成22年度 造林事業種別補助金額

（1ha当り）

作業種	対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額		
			組合で作業した場合	所有者自ら作業した場合	
造林	拡大造林	天然林の伐採跡地で行う造林 (2,100本/ha以上植栽) (注1)	スギ2,100本の場合 722,000	665,000	
	再造林	人工林の伐採跡地で行う造林 (2,100本/ha以上植栽) (注1)	スギ2,100本の場合 479,000	441,000	
下刈	1年生	1年生・複層林 春植え・複層林に摘要	45,000	42,000	
	2~10年生	2~10年生 2回刈については成育に支障を来す恐れがある場合のみ	82,000	75,000	
除伐A	11~35年生	伐採作業を主とする場合 (伐採本数率20%以上)	93,000	86,000	
除伐B		刈払作業を主とする場合 (伐採本数率は規定しない)	88,000	81,000	
枝打ち	11~30年生	仕上げ幅1.6m以上 (注2)	実施幅2m未満 ha1,500本の場合 76,000	70,000	
育天		雑木林の不用木除去、不良木淘汰 (注3)	74,000 ~157,000	69,000 ~145,000	
間伐	切捨A	11~60年生	伐採本数率16%以上24%未満、 玉切り・枝払い無し	59,000	54,000
	切捨B		伐採本数率24%以上、 玉切り・枝払い無し	80,000	74,000
	玉切A		伐採本数率16%以上24%未満、 玉切り・枝払い有り	78,000	72,000
	玉切B		伐採本数率24%以上、 玉切り・枝払い有り	110,000	101,000
	搬出A		伐採本数率16%以上24%未満、及び 伐採木の64%以上林外に搬出集積 (注4)	118,000 ~148,000	108,000 ~137,000
	搬出B		伐採本数率24%以上、及び 伐採木の64%以上林外に搬出集積 (注4)	151,000 ~182,000	139,000 ~167,000

(注1) 植栽の補助額は、ha当りの植栽本数、植栽樹種により変わります。

(注2) 枝打の補助額は、ha当りの枝打実施本数、作業実施幅により変わります。

(注3) 育天の補助額は、伐採木の胸高直径、伐採率により変わります。

(注4) 搬出間伐の補助額は、ha当りの搬出本数・搬出距離により変わります。

搬出間伐を行った場合は搬出材積を証明するものが必要となります。

代理申請の場合、上記金額より申請手数料が差し引かれます。

上記の補助を受けるためには、森林施業計画を作成し、計画に沿った実施が必要となります。

尚、補助を受けるための条件(作業の方法など)については本所、各支所にお問い合わせ下さい。

第16回 本荘由利森林組合造林コンクール参加林分募集

参加資格

本荘由利森林組合組合員であること。(旧由利地域森林組合長会及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門での申込はできません。)

参加申込期間

平成22年9月1日～平成22年10月15日

参加申込方法

本所、各支所備え付けの参加申込用紙に記入の上、提出してください。

参加林分の基準

平成21年、平成22年度中に施業を実施した林分に限る。

A 人工林

- (イ) 樹種：スギ
- (ロ) 面積：0.10ha以上
- (ハ) 林齢：植栽後7年以上

B 育成天然林

- (イ) 樹種：広葉樹
- (ロ) 面積：面積：0.10ha以上
- (ハ) 林齢：25年生以上

参加部門

第1部	幼齢林の部	7年生～9年生
第2部	枝打ちの部	11年生～30年生
第3部	保育間伐の部	21年生以上
第4部	収穫間伐の部	21年生以上
第5部	育成天然林の部	25年生以上

審査期間

平成22年10月16日～平成22年12月15日

表彰について

各部門第1位から第3位まで3点づつ



第2回 理事会報告

開催日 / 平成22年7月8日(木)

理事17名、監事2名の出席により開催しました。

報告事項

- 議案第1号
固定資産の取得について
- 議案第2号
定期監査報告に対する回答(案)について
- 議案第3号
役員報酬の配分及び支払期日について
- 議案第4号
役員退任慰労金の支給について
- 議案第5号
役員賠償責任保険加入について
- 議案第6号
林業技能者賞与支給について

鳩山元総理大臣訪問

7月6日、当組合本所に民主党鳩山元総理大臣が訪問され林業について懇談しました。



木材市況情報 (平成22年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	6月3日			7月6日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(2,584) 9,305	(2,435) 8,767	(2,507) 9,027	(2,670) 9,613	(2,596) 9,348	(2,616) 9,421
		24~34	(3,298) 11,873	(3,318) 11,299	(3,263) 11,750	(3,400) 12,241	(3,210) 11,558	(3,327) 11,979
出材量・販売量・販売率			937m ³ (3,373石)・813m ³ (2,926石)・86%			563m ³ (2,026石)・563m ³ (2,026石)・100%		
概況 6月：16～22cmの一部良材には、9,000円/m ³ 越えの物件も出てきた。 7月：常連の量産工場、山形、鶴岡、横手市勢の参加で各径級とも引き合いが強く完売。								

総務課よりお知らせ

平成22年度 賦課金の納入について

納入期限を過ぎましたが、未納の方は早めの納入を宜しくお願いします。

各種届出事項について

変更届：住所・所在地及び団体代表者の変更や相続等があった場合は、本所・各支所に備え付けてあります届出用紙に記載のうえ提出してください。

法定脱退：譲渡または売却等により所有する森林が全てなくなった場合は、組合員資格を失い「法定脱退」となりますので、早急にお届けください。お届けがなければ事務処理ができませんので宜しくお願いします。

詳細は
総務課
まで



今後の行事予定

- 本荘地区組合員研修 九月十五日(水)
- 仁賀保地区組合員研修 九月十六日(木)
- 組合員視察研修 十月十七日(日)
- 森林組合まつり 十月十七日(日)
- 技術向上講習会 十月十八日(月)
- 地区座談会 十月中旬
- 造林コンクール申込期間 一月下旬～二月下旬
- 造林コンクール表彰及び
林業講演会 九月一日～十月十五日
- 二月下旬

林業相談日

林業技術・山林・庭木等に関する疑問やお困りの事などにお答えしておりますので、是非ご利用ください。

10月	8日	22日
11月	5日	19日
12月	10日	24日
1月	14日	28日